

# 第66回 MESH 環境デザインセミナー

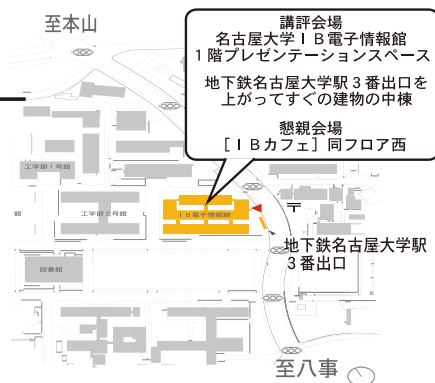
2008年7月11日(金) 18:30~20:20  
(18:00より受付開始)

名古屋大学 IB電子情報館 1F IB105講義室

名古屋市中種区不老町

セミナー参加費=1,000円

懇親パーティー=2,000円



[http:// m-e-s-h.org/](http://m-e-s-h.org/)

- 主催  
MESH(環境提案協会-中部)
- 共催  
名古屋大学 谷口・恒川研究室  
後援  
JCD(社団法人日本商環境設計家協会中部支部)  
JID(社団法人インテリアデザイナー協会中部事業部)  
SDA(社団法人日本サインデザイン協会中部地区)  
CIP(有限責任中間法人中部インテリアプランナー協会)  
国際デザインセンター
- 協力  
名古屋大学  
愛知淑徳大学  
桐山学園大学  
名古屋工業大学  
トライデントデザイン専門学校  
名古屋デザイナー学院  
コイズミ照明株式会社  
株式会社スペース  
松下電工株式会社

## 第1部 テーマ「時代とデザイン」 (18:30~20:00)



飯島 直樹 Naoki IIJIMA

1949年生まれ。1972年武蔵野美術大学工芸工業デザイン専攻卒業。西武百貨店、スーパーポテトを経て1985年飯島直樹デザイン室設立。「西武SEED」、「THE WALL」、「5S(ニューヨーク)」、「ブルーポンド(ソウル)」、「ワタベウエディング(上海)」、「東京糸井重里事務所」、「アークタワーズリノベーション」、「新宿高島屋環境リノベーション」、「PMOオフィスプロジェクト」、「青山AO環境計画」など、多様な空間デザインを計画。2004年より(社)日本商環境設計家協会理事長。

▶コメンテーター…谷口元・加藤和雄



## 第2部 学生プレゼンテーション (20:00~20:20)

名古屋大学:河村佳高(学生)

▶コメンテーター…飯島直樹・谷口元・加藤和雄

### ■コメンテーターの紹介



谷口 元  
名古屋大学大学院教授



加藤和雄 建築家・デザイナー  
加藤和雄/状況空間研究所主宰  
MESH会長



## セミナー会場



## 第66回 MESH 環境デザインセミナー記録

### ■テーマ 「時代とデザイン」

講師：飯島直樹 (Naoki Iijima)

・2008年7月11日(金) 18:30 - 20:20

・名古屋大学 IB電子情報館 1F IB105講義室

参加者 名

【文中敬称略】

飯島氏は、1972年に武蔵野美術大学を卒業し、西武百貨店、スーパーポテトを経て、1985年に「飯島直樹デザイン室」を設立された。初期の頃に影響を受けたのは、世界的には、ジャクソン・ポロック(1950年代の抽象表現)やドナルド・ジャド(1960年代のミニマル・アート)、脱構築主義(1980年代)、その他、写真家、音楽家などのアーティストたちであり、国内では、スーパーポテト時代に開催された「インサイド・ゼミ」での、倉俣史朗・内田繁・杉本貴志など、多数のデザイナーとの出会いであった。そして、飲み屋での熱い議論は、それが、もうひとつの学校であったようである。50代の、日本を代表するインテリア・デザイナー飯島直樹氏のデザイン領域は、「インテリア」「建築」「プロダクト」にまたがり、その用途は「商業」「住居」「公共」までの広範囲をこなしている。それらを、高感性、高思考性でデザインする飯島氏は、また、論客でもあり、人望も厚く、日本の商環境デザインの未来、新たな方向に対して、示唆、影響力を持つ一人である。そのような飯島氏をお迎えしての会場は、緊張感に満ち溢れていた。講演の後半、「時代はドゥルーズのものになるだろう」という引用とともに、現在の現象的デザインへの傾向を語り、最近の「JCDデザイン賞」の入賞作品にもそれが強く現れている、との最新の商環境デザインの状況を述べられた。デザインを、[1・新たな行為][2・新たな空間][3・新たな気持]と展開した時、飯島氏のデザインは、[2・新たな空間・形式・現象]からスタートしているように思われる。そこにある用途は、たまたまそこにあるだけで、別の用途でも成立するような世界である。ある意味で、ホモロジー・デザイン(多用—単形)の関係が成立しているように思われる。今回、名古屋へお越しいただいたことは、中部地域のデザイン・文化発展のために貴重な機会であり、心よりお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



飯島直樹氏



### 質問

コルビュジェの近代建築の5原則によって、建築の空間表現は自由を獲得したが、インテリアデザインの世界では近代建築5原則をどう捉えているのか。

インテリアの仕事の場合、すでに構造としての床・壁・柱などが与条件として与えられているので、新たにデザインできるインテリア・シェルターの床・壁・天井は自由であり、近代建築の原則が応用されていると言える。



### 第2部 学生プレゼンテーション

名古屋大学 河村佳高

名古屋駅前東口エリア・31メートルの既存建築群の屋上をつなぎ増殖的に新たな用途(この場合、学校)、新たな空間を作り出すという都市環境における提案がなされた。

